

## 参考資料 11 土づくり肥料の施用法

土 壤 型		施用法及び施用量 (10 a 当たり)
①	黒ボク乾田	珪酸資材 300kg を 3 年に 1 回施用するか, 100kg を毎年施用する。 ようりん 30kg を毎年施用する。
②	黒ボク湿田	含鉄資材 400kg を 3 年に 1 回施用するか, 130~150kg を毎年施用する。ようりん 30kg を毎年施用する。
③	棚田粘質乾田	含鉄資材 400kg を 3 年に 1 回施用するか, 130~150kg を毎年施用する。時には珪酸資材に切り替え, 3 年に 1 回施用の場合 200~300kg を, 毎年施用の場合 70~100kg を施用する。
④	棚田粗粒質・礫質乾田	珪酸資材 400kg を 3 年に 1 回施用するか, 100kg を毎年施用する。時には含鉄資材に切り替え, 3 年に 1 回施用の場合 400kg を, 毎年施用の場合 130~150kg を施用する。
⑤	棚田粘質湿田	珪酸資材 200~300kg を 3 年に 1 回施用するか, 70~100kg 毎年施用する。ごま葉枯れ病, 秋落ち田にはマンガン, 苦土も補給する。
⑥	平坦・谷間粘質乾田	珪酸資材 200kg を 3 年に 1 回施用するが, 作土に斑鉄の見られない土壌では含鉄資材 400kg を 3 年に 1 回施用する。
⑦	平坦・谷間粗粒質乾田	含鉄資材 150kg または珪酸資材 100kg を毎年施用するか, これらを交互に施用する。 ごま葉枯れ病, 秋落ち常習田ではマンガン, 苦土も補給する。
⑧	平坦・谷間礫質乾田	含鉄資材 150kg または珪酸資材 100kg を毎年施用するか, これらを交互に施用する。
⑨	平坦・谷間粘質強湿田	珪酸資材 200~300kg を 3 年に 1 回施用するか, 70~100kg 毎年施用する。
⑩	平坦・谷間粗粒質強湿田	珪酸資材 400kg を 3 年に 1 回施用するか, 130~150kg 毎年施用する。ごま葉枯れ病, 秋落ち田にはマンガン, 苦土も補給する。
⑪	平坦・谷間粘質半湿田	珪酸資材 200~300kg を 3 年に 1 回か, 70~100kg 毎年施用する。
⑫	平坦・谷間粗粒質半湿田	含鉄資材 100kg を毎年施用するが, 時には珪酸資材 100kg に切り替える。マンガン, 苦土も補給する。